

鳥取砂丘こどもの国に係る外部有識者意見交換会（概要）

日時：平成24年7月10日 午後1時30分～4時

場所：鳥取砂丘こどもの国 管理棟会議室

1 主な意見

（1）遊具等の整備・更新方針

- 鳥取砂丘こどもの国の役割は「自分の力で遊べる」こと。遊具の整備にあたっては、こども自身が主役になり、自由に遊べる分野を伸ばして行ってほしい。
- 子どもだけでなく親も一緒に楽しめ、大人もわくわくするような施設にしてほしい。
- 入場者数の減少の原因は、施設の老朽化も否めない。定期的にリニューアルするなど、目新しいものを投入し、入場者確保に努めてほしい。

（2）利用者サービスの点検

- 広報内容、イベント実施状況とも、指定管理者はよくがんばっている印象。
- 他の施設との連携（花回廊の花紹介）や、砂丘の立地を生かした企画（砂像体験、ジオパーク学習コーナー、砂丘検定との連携）を検討してはどうか。
- 遊びのヒントを園内にちりばめてみても面白いのでは。（砂丘見晴し台や大山が望めるスポットの看板の設置や、「N字松を探してみよう」の案内など）

2 施設の活用策等に係るご意見

（1）わんぱく広場

- 子どもが利用するためには、トイレ、水周り、休憩所等の環境整備が必要。
- 無料で利用できる芝生広場は他にもあり、同じ条件では利用は伸びない。サッカーゴールの設置や、イベント会場としての利用など、利用に結びつくきっかけが必要。
- 予算が許すのであれば、遊具の設置も検討されたい。
（県内に無いものであれば、アスレチック（オリエンティング）、大型迷路、アイススケート場など）

（2）バードケージ

- 動物がいると、親子で楽しむことができる。
- 鳥が難しければそれ以外の動物（ウサギ・カメ・ヤギなど）や昆虫（クワガタ・ホタルなど）でも良いので、子どもと生き物とのふれあい体験を提供してほしい。

（3）その他屋内外施設・工房等

- 同じような遊具が多い印象。今後、遊具の整備・更新にあたっては、年齢層（低年齢・高年齢）や天候条件（晴・雨）等で既存遊具と差別化を図っては。
- 雨の日に利用できる遊具が少ない。屋内遊具（屋内砂場、積木遊び施設など）を充実しては。
- 木工工房はクオリティが高く感動した。職員にスポットをあててもっとPRしてもよい。
- 工房で作った作品を使って、イベント等に展開していくと効果的。（自分で作ったロボットを着て行進するイベントなど、県外では人気。）